

「国道 121 号湯野上 2 号トンネル工事」現場見学報告書

地域活動部会 東北支部 大久保新助

東北支部においては、(株)竹中土木様のご協力を賜り、「国道 121 号湯野上 2 号トンネル」の現場見学会を開催いたしましたので、ご報告申し上げます。

本トンネルは、会津縦貫南道路の一部として計画されている国道121号湯野上バイパスにおいて、3本のトンネルの中で最長のものです。

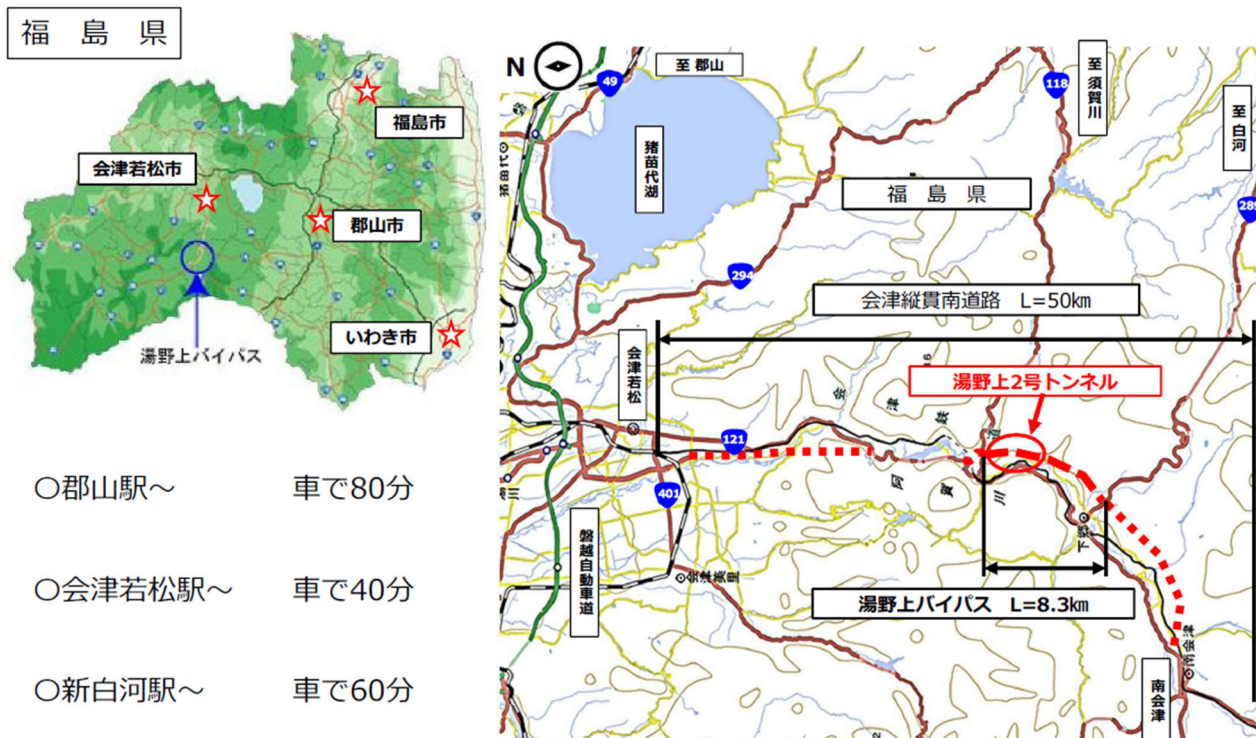
現場での主な見どころとしては、遠隔臨場による岩判定の実施状況や、トンネル変状対策として二重支保工を採用した施工の様子が挙げられます。

【工事概要】

工事名	国道 121 号湯野上2号トンネル工事
工事場所	福島県南会津郡下郷町大字高碓～下郷町大字白岩地内
発注者	国土交通省東北地方整備局
工期	令和 4 年 2 月 10 日～令和 7 年 9 月 30 日
請負者	株式会社竹中土木

【工事数量】

トンネル延長 1,936m（全長 2,539m）	トンネル(NATM) 1,930m（機械掘削）
覆工コンクリート 1,562.5m	インバートコンクリート 1,562.5m
坑門工（明かり巻） 1 箇所	トンネル仮設備 1 式



今回の見学会は、マイクロバスの定員に合わせて 23 名に限定して募集しましたが、案内を公開したその日の午前中には定員を超えるお申し込みをいただきました。集合は東北新幹線新白河駅とし、マイクロバスにて現場へ向かいました。途中、福島県管理の供用中トンネルとしては 2 番目に長い甲子トンネルを通過し、南会津郡下郷町に移動しました。

バス移動は約 1 時間でしたが、現地では竹中土木の所長自らが事務所前でお出迎くださいました。現場の会議室をお借りし、大久保支部長のご挨拶を皮切りに見学会が始まりました。続いて、竹中土木の浦橋所長より現場概要についてご説明をいただいた後、実際に現場を見学しました。

坑口を横断するベルトコンベヤをくぐって入坑し、照明は非常に明るく、路面もローラーで転圧されており、その様子はバスの車内からでも確認できるほどでした。吹付コンクリート及び覆工コンクリートの仕上がりは非常に美しく仕上がっておりました。

現在は、変位の増大に対応するため二重支保工を採用しているほか、異常出水の影響により切羽作業が一時中断されている状況であり、今回は切羽手前までじっくりと見学させていただきました。

